

# 7月の消防広報重点事項

発行 令和元年6月11日

盛岡市危機管理防災課

編集 盛岡中央消防署

## ●7月1日は『国民安全の日』です。

『国民安全の日』は、国民一人ひとりがその生活のあらゆる面において、施設や行動の安全について反省を加え、火災などの安全を脅かす災害の発生の防止を図るため、昭和35年に創設されました。



消防署では、この行事の一環として、消防団員等と合同により一般家庭を訪問し、住宅火災の予防方法や住宅用火災警報器の設置指導のほか、AEDを使用した心肺蘇生法についての救命講習を行います。

この機会に、日常生活の安全について見直してみましょう。

## ●熱中症を予防しましょう！

### <熱中症の予防のために>

#### 行動の工夫

- ① 日陰を選んで歩く
- ② 涼しい場所に避難する
- ③ 適宜休憩する
- ④ 天気予報を参考にして外出を検討する
- ⑤ こまめに水分補給をする

#### 衣服の工夫

- ① 吸汗・速乾素材等を活用する
- ② 襟元はゆるめて通気する
- ③ 日傘や帽子を使う

#### 住まいの工夫

- ① 外部の熱を断熱する（ブラインドやすだれ、日射遮断フィルム等）
- ② 風通しを利用する（網戸・吹き抜け等）
- ③ 空調設備を利用する（我慢せずに冷房を入れる）

### <熱中症の危険信号>

- ◆ 高い体温 ◆ ズキンズキンとする頭痛 ◆ 意識の障害
- ◆ 赤い・熱い・渴いた皮膚 ◆ めまい、吐き気

### 熱中症の応急手当

+ 涼しい場所へ移動し、衣服を緩め、安静に寝かせる

+ エアコンをつける、扇風機・うちわなどで風をあて、体を冷やす

首の周り・脇の下・太もものつけねなどを冷やす

飲めるようであれば水分を少しずつ頻回に取らせる

水分

持病をお持ちの方やお子さんは、かかりつけの医師とあらかじめ相談し、熱中症対策についてアドバイスをもらっておきましょう

## ●台風に対する備え

日本列島には毎年7月から10月を中心に台風が上陸し、土砂災害や河川の氾濫など、大きな被害が発生しています。

近年は、台風が北陸地方や北海道・東北地方まで到達することが多いので、台風に対する備えは全国どこでも必要です。

### 台風による被害

#### ○ 大雨による被害

台風やその周辺部では、激しい雨が長時間にわたって降り続くことがあります。また、台風が日本

から遠く離れた南の海上にあっても、日本付近にある前線に暖かく湿った空気が送り込まれて大雨になることがあり、河川の氾濫やがけ崩れ、土石流、地すべりが発生し、私たちの生命が脅かされることがあります。

#### ○ 暴風による被害

台風の周りでは強い風が吹いています。風速15~20m/sの風であっても、歩行者が転倒したり、車の運転に支障が出たりすることがあります。さらに風が強くなると、物が飛んできたり、建物が損壊したりするようになり、風速40m/sを超えると電柱が倒れることもあります。

また、台風の周辺では、竜巻のような激しい突風が発生することもあります。一度竜巻が発生すると、その近辺で複数の竜巻が発生する可能性が高くなると言われています。



### 台風への対応

家庭においては、台風に備えて、次のような準備を十分にしておきましょう。

○ 窓や網戸はしっかりと鍵をかけ、必要に応じて補強をする。

○ 風で飛ばされそうな物は飛ばないように固定し、格納できるものは家の中へ格納する。

また、一人ひとりが、どのような避難行動をとれば良いか、あらかじめ理解しておくことが大切です。地域で作成している防災マップや防災計画等を確認してみましょう。

## ●盛岡市内の1月から5月までの火災件数

	令和元年	平成30年	比較増減
火災件数	22件	15件	7件増
死者数	2人	2人	増減なし

## ●令和元年5月中の火災1件の内訳

5月21日 永井 住家1棟全焼、住家1棟部分焼及び非住家1棟半焼

